



馬の学校通信

2018. 9 vol.71

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX : 052-805-2920



E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : <http://www.horseschool.org>



「なぜ馬を好きになったのですか？」



馬の学校のお話をすると、よく聞かれる質問です。馬という存在が身近ではない日本では、「馬が好き」ということ自体が、珍しいようです。

私の記憶にある、馬との初めての出逢いは、小学2年生の夏休み、小豆島の寒霞渓で遊覧馬に乗った時です。今はもうないようですが、サラブレッドに乗り、馬場内ではなく、外のコースを1周まわりました。実際にどのぐらいの距離だったのかはわかりませんが、子ども心にはとても長く、アップダウンもあり、“大冒険”したような気分になりました。「馬がかわいい」と思うよりは、その乗った時のドキドキワクワク感が楽しかった思い出があります。当時、一緒に乗った姉は怖かったようで、それ以来、ほとんど馬には乗っていません。同じ体験でも、これだけ「感じ方」が違うとは、不思議なものです。その後、馬に乗りたい!と思ったものの、動物園などで気軽に乗れるのはたいていポニーでしたので、小学校高学年になると、ポニーがかわいそうと家族に言われ、乗る機会がなくなっていきました。当時はムツゴロウさんの全盛期。テレビを見ては、北海道で馬に乗ることを夢見る日々でした。

馬に乗る機会に恵まれないまま大学生になり、入学した大学には残念ながら馬術部はなく、近所の乗馬クラブに行ってみることにしました。体験乗馬を申し込んだところ、うまく勧誘され、いつの間にか会員に(笑)そのままでは乗馬を趣味とする「馬好き」で終わっていたかもしれませんが、次第に馬に乗るだけでなく、世話もしたいと思うようになりました。そんな折、旅行先で小須田牧場に行き、オーナーのレッスンを受けました。それまでは部班(指導者の号令に従い、複数の人馬が同時に運動する練習方法)でしか馬に乗ったことがなく、初めて自分一人で馬に合図を出してみても、部班では馬が勝手について行っただけだということに気づきました。馬とのかかわりの奥深さに興味を持ち、大学2年生になる前の春休みにファームステイに参加。その後の人生が大きく変わる第一歩になりました。(次号へ続く)



おすすめの本

『ぼくたちとさんご』佐久間陽三著 文芸社

北海道に生きる日本の馬である「道産子(北海道種)の暮らしを、写真で紹介している絵本です。仔馬の成長の様子が物語風に描かれており、自然の中で群れで生きる姿もよくわかります。「母さんの上をぴよん。起きて。ぴよん。起きて。でもなかなか起きてくれない。」という場面は、娘に言わせると「馬も人間も一緒」らしいです(笑)お母さんは、馬でも人間です。牧場の馬たちとは違う一面が見られる、娘のお気に入りの一冊です。



馬のおもちゃ

『ホップ ギャロップ』

ドイツのHABA社のボードゲーム「ホップギャロップ」は、ドイツ旅行に行ったときに、箱の可愛さだけで買ってきたボードゲーム。サイコロを振って、障害物を飛び越えながらゴールする、すごろく風のゲームです。ただし、事前の自分の予想と一致すれば進めて、一致しなければ進めないという、ちょっと変わったルールで行います。ドイツの馬のゲームの多さには本当に驚くばかりで、娘と一緒に楽しんで



活動報告

ブラシがけ&にんじんあげ体験 in 六甲山牧場 (8月18日)

1日で34名の参加があり、30分という短い時間の中でも、たくさんのチャレンジが見られました。



ミルクと友達になろう (8月3日~6日)

子どもから大人までのべ23名の参加があり、それぞれのペースでミルクと友達になってくれました。



ぱかぽこひろばに行ってきました!

昨年のウマTシャツでコラボした「ぱかぽこひろば」に、娘と一緒に遊びに行ってきました。茨木市上音羽にて、自然の中で馬と触れ合える空間を営んでおられます。娘はポニーの「リッチ」にブラシがけをしたり、乗馬では一人で合図を出して、すっかり仲良しに! いつかコラボプログラムもできればと思っています。



ぱかぽこひろばHP
<http://pakapoko.com/>

秋のプログラム参加者募集!

馬とのふれあいプログラム in 六甲山牧場

日程: 11月3日(土) 11時~13時30分

対象: 3歳~大人(定員6名・ご家族でも参加できます)

参加費: 1人¥4,000(現地集合・解散)

馬への理解を深める講習会 in 六甲山牧場

日程: 11月4日(日) 11時~13時30分

対象: 高校1年生~大人(定員8名)

内容: 馬についての座学・ホースマンシップに基づいた馬とのコミュニケーション体験(馬場を2周程度の乗馬体験を含む)

参加費: 1人¥3,500(現地集合・解散)

*上記参加費のほかに、六甲山牧場入園料(大人500円、小学生以上200円)がかかります。

*申し込み締切 10月29日(月)

馬とのふれあいプログラム in 愛知牧場

日程: 11月18日(日) 10時~12時

対象: 年中児~大人(定員6名)

参加費: 1人¥5,000(3歳~小学3年生・ポニー使用)
¥5,500(小学4年生~大人・成馬使用)

*申し込み締切 11月12日(月)

馬とのふれあいプログラム in 服部緑地

日程: 12月2日(日) 8時40分~10時40分

対象: 3歳~小学2年生(定員6名)

参加費: 1人¥5,000(現地集合・解散)

*申し込み締切 11月22日(木)



編集後記

通信をリニューアルしました! 1号を発行した17年前はインターネットも普及しておらず、次回プログラムの案内のために発行を始めました。今では誰もがネットにアクセスできるようになりましたが、この通信をきっかけに知り合うことができたり、出産前後のプログラム休止中でも皆様とつながれたり、その役割はとても大きいと感じています。そのため、発行を続け、さらに多くの方とつながれるようにと、構成等を見直しました。(今後も状況に応じて見直していくつもりです)

夏休みは、愛知→山梨→愛知→兵庫と移動し、プログラムや大学での集中講義を行っていました。娘は小須田牧場でのプログラムでは見本になったり、飽きたら他の誰かと遊び(遊んでくださった方々、ありがとうございました)、ぱかぽこひろばに遊びに行ったりと、馬づくしの夏休みを満喫したようでした。

(峯崎友香理)